

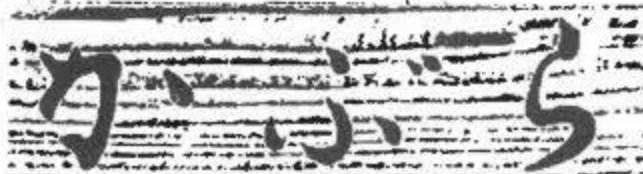


スマホも。

&

丸金
太郎

Designers
MARUKIN AD
■富岡本社 群馬県富岡市下栗岩289
■東京事務所 東京都渋谷区宇田川町42-6 colab渋谷



富岡・甘楽ニュース 第643号

2015/11月1日

発行部数 8,075部

発行所
編集室 山久新聞店
富岡市富岡1405-10
電話 0274-63-7111㈹
FAX 0274-62-0565
佐藤好則
発行人
編集者 佐藤好則

次回発行予定日 12月1日

水土舎が稻刈り祭り開催
はざ掛けとは刈り取った稲を逆さにし、天日に干す方法で、ゆづくりと乾燥させることにより茎に残った旨味や栄

水土舎が稻刈り祭り開催

上州水土舎（理事長・金谷透）で24日、稻刈り祭りが行われた。今年7月に植え付けた稲が黄金色に輝き収穫期を迎えた。米の品種は朝の光、収穫量は4俵弱。今年もIHIの社員55名とその家族、ボランティアなど約100人の協力により利用者と秋晴の空の下、稲を刈り、刈り取った稲を麻紐で束ねてはざ掛けへと作業を進めた。

はざ掛けとは刈り取った稲を逆さにし、天日に干す方法で、ゆづくりと乾燥させることにより茎に残った旨味や栄

養分を米一粒一粒に行き渡らせ完熟した状態になると、さらに美味しい米に仕上がると言ふ。

無農薬で育てた田んぼにはイナゴが飛び交い、コナギと云うミズアオイ科の美しい紫色の花を咲かせた水田雑草が生えていた。コナギは発生量が多く養分収奪力が大きい強雑草で除草剤を蒔かないため、八反転がしと云う除草作業を念入りに行い大量発生を免れた。

収穫された米は美味しく身体に良いと大変な人気で毎年、東京方面からの注文先へ届けられる。稻刈りが進む恒例のカレー作り、餅つきに忙しい。頑張って働いたあとの中、利用者のお母さんたちは愛情こもった昼食をいただき、今年の稻刈り祭りを終えた。



2015.11.1 行政643号